一般演題（口頭発表）

YAO1：発表賞対象講演

10月1日㈭　13：00～14：50　D会場

座長・評価者：伊藤 敦（東海大学）、大津山 彰（産業医科大学）、菓子野 元郎（大分大学）、森田 明典（徳島大学）、細田 正洋（弘前大学）

YAO1-01 高感度検出系を用いた低線量X線による体細胞突然変異の解析

○白石 久美子[1)]、大川 沙織[1)]、菅谷 紘太[1)]、立花 章[1)]、小松 賢志[2)]、田内 広[1)]
1）茨城大 理 生物科学、2）京都大 放生研

YAO1-02 γ線緩照射による放射線適応応答誘導へのp38 MAPK αの関与

○長森 夏海[1)]、松永 愛美[1)]、小林 純也[2)]、立花 章[1)]
1）茨城大学大学院理工学研究科、2）京都大学放射線生物研究センター

YAO1-03 乳幼児期Ptch1ヘテロマウスの低線量率被ばく誘発髄芽腫について

○鶴岡 千鶴、尚 奕、上西 睦美、森岡 孝満、島田 義也、柿沼 志津子
放医研・発達期P

YAO1-04 Possible role of human RecQL4 helicase but not BLM helicase in replication coupled DNA double strand breaks by ionizing radiation.

○Masaoki Kohzaki[1)], Akira Ootsuyama[2)], Takashi Moritake[1)], Thanos Halazonetis[3)], Ryuji Okazaki[1)]
1）Dept. Radiol. Health Sci., Univ. Occup. Environ. Health,
2）Dept. Radiat. Biol. Health, Sch. Med, Univ., Occup. Environ. Health、3）Dept. Mol. Biol., Univ. Geneva

YAO1-05 マイクロビームを用いた細胞核照射と細胞質照射によるミトコンドリアへの影響

○嘉成 由紀子[1,2)]、神長 輝一[1,2)]、成田 あゆみ[2)]、宇佐美 徳子[3)]、鈴木 啓司[4)]、横谷 明徳[1,2)]
1）茨城大学大学院 理工学研究科、2）日本原子力研究開発機構 先端基礎研究センター、3）高エネルギー加速器研究機構、
4）長崎大学大学院 医歯薬学総合研究科附属原爆後障害医療研究施設

YAO1-06 ヒト肺由来の異細胞種間バイスタンダー効果における線量応答の解析

○池田 裕子[1,2)]、横田 裕一郎[2)]、舟山 知夫[2)]、金井 達明[1)]、中野 隆史[1)]、小林 泰彦[1,2)]
1）群馬大学大学院 医学系研究科、2）日本原子力研究開発機構 マイクロビーム細胞照射研究グループ

YAO1-07 Drp1依存性ミトコンドリア分裂が細胞の放射線応答に与える影響の評価とそのメカニズムの解析

○山盛 徹、池 悟志、笹川 朋哉、鈴木 基史、酒井 友里、安井 博宣、稲波 修
北大院 獣 放射線

YAO1-08 部位特異的DNA二重鎖切断によって誘発された体細胞突然変異の解析

○小林 穂波、小林 健太、本田 千明、立花 章、田内 広
茨城大 理 生物科学

YAO1-09 Chromosome instability transmitted by a microcell exposed to ionizing radiation

○Yuki Hirakawa, Kazunori Shiraishi, Seiji Kodama
Lab. Radiat. Biol., Dept. Biol. Sci., Grad. Sch. Sci., Osaka Pref. Univ.

YAO1-10 福島第一原発事故に伴う旧警戒区域内の被災動物歯質中放射性Srの比放射能測定

○小荒井 一真[1)]、木野 康志[1)]、高橋 温[2)]、鈴木 敏彦[2,3)]、清水 良央[2)]、千葉 美麗[2)]、小坂 健[2,3)]、福田 智一[4)]、磯貝 恵美子[4)]、岡 壽崇[1,5)]、関根 勉[1,5)]、福本 学[6)]、篠田 壽[2)]
1）東北大学院 理、2）東北大院 歯、3）東北大 災害研、4）東北大院 農、5）東北大 高教機構、6）東北大 加齢研

YAO1-11 宮城県の自生キノコ中の放射性セシウム濃度の推移とキノコのセシウム濃縮機構

○入澤 歩[1)]、木野 康志[1)]、小野寺 花梨[1)]、小荒井 一真[1)]、浅井田 和宣[1)]、小林 仁[3)]、関根 勉[4)]、林 剛平[2)]、福本 学[2)]
1）東北大院 理 化学、2）東北大 加齢研、3）宮城大 食産、4）東北大 高教機構

YAO2：発表賞対象講演

10月1日(水) 15：00～16：50 D会場

座長・評価者：増永 慎一郎（京都大学）、細川 洋一郎（弘前大学）、舟山 知夫（日本原子力研究開発機構）、小嶋 光明（大分県立看護科学大学）、加藤 晃弘（京都大学）

YAO2-01 DNA相同組換え修復の末端リセクションにおけるCtIPタンパク質フォーカスに関する研究

○藤澤 寛[1,2]、藤森 亮[2]、岡安 隆一[2]、上坂 充[1]、矢島 浩彦[3]
1）東大院 工 バイオエンジニアリング、2）放医研 放射線防護研究センター、3）放医研 重粒子医科学センター

YAO2-02 XRCC4リジン－アルギニン置換体の解析

○福地 命、クマール シャルマ ムケシュ、ワノタヤーン ルジラー、松本 義久
東京工業大学 原子炉工学研究所

YAO2-03 X-ray-induced chromosome bridges analyzed by live cell imaging

○Shohei Okamoto[1], Ai Kawakita[2], Kaori Murata[2], Kazunori Shiraishi[1], Kenji Sugimoto[2], Seiji Kodama[1]
1）Lab. Radiat. Biol., Dept. Biol. Sci., Grad. Sch. Sci., Osaka Pref. Univ.、2）Live Cell Imaging Inst., Osaka Pref. Univ.

YAO2-04 DNA損傷応答により生じるヒストンH2A/H2Bの二次構造変化

○泉 雄大[1]、山本 悟史[2]、藤井 健太郎[1]、横谷 明徳[1,2]
1）日本原子力研究開発機構、2）茨城大 理

YAO2-05 相同組換え修復の細胞周期依存性解析

○坂本 裕貴[1]、大川 沙織[1]、穀田 哲也[1]、勅使河原 愛[1]、飯島 健太[1]、高田 穣[2]、小松 賢志[2]、田内 広[1]
1）茨城大学理学部生物科学、2）京都大学放射線生物研究センター

YAO2-06 DNA二重鎖切断応答におけるNBS1の新たな機能

○加藤 晃弘[1]、柳原 啓見[1,2]、小松 賢志[1]
1）京都大 放生研 ゲノム動態、2）広島大 原医研 放射線ゲノム疾患

YAO2-07 少線量放射線分割照射による放射線抵抗性の増強

○鈴木 正敏、ロジヌエメ メタッセホンコワ、吉田 幸代、井上 和也、漆原 佑介、桑原 義和、福本 学
東北大学 加齢医学研究所 病態臓器構築研究分野

YAO2-08 エネルギー代謝経路が癌幹細胞性維持に及ぼす影響の解析

○孫 略[1]、伊東 一也[2]、松本 孔貴[3]、盛武 敬[4]、坪井 康次[5]
1）筑波大院 人間総合科学 疾患制御医学、2）筑波大院 人間総合科学 フロンティア医科学、
3）筑波大学 医学医療系・臨床医学域・放射線腫瘍科、4）産業医大 産業生態科学研究所 放射線健康医学、
5）筑波大学医学医療系・生命医科学域 基礎放射線生命医学分野

YAO2-09 オージェ電子放出核種In-111を用いた放射免疫療法

○李 惠子[1,2]、長谷川 純崇[2]、佐賀 恒夫[2]、鎌田 正[2]
1）千葉大学大学院 医学薬学府、2）放射線医学総合研究所

YAO2-10 金粒子含有ナノゲルによる小胞体ストレスを介した放射線増感作用

○安井 博宣[1]、武内 亮[1]、永根 大幹[1]、山盛 徹[1]、池中 良徳[2]、昆 泰寛[3]、室谷 憲紀[4]、大石 基[4]、長崎 幸夫[4]、稲波 修[1]
1）北大院 獣医 放射線、2）北大院 獣医 毒性、3）北大院 獣医 解剖、4）筑波大院 数理物質科学 物性・分子工学

YAO2-11 放射線による線虫の運動抑制におけるROSの関与

○鈴木 芳代[1]、坂下 哲哉[1]、服部 佑哉[2]、小林 泰彦[1]
1）独立行政法人日本原子力研究開発機構マイクロビーム細胞照射研究グループ、
2）独立行政法人日本原子力研究開発機構放射線影響解析研究グループ

O1-1：マイクロビーム・モデル

10月1日(水) 9：20～9：50 B会場

座長：宇佐美 徳子（高エネルギー加速器研究機構）

O1-1-1 X線マイクロビーム照射によるDNA損傷の検出

○後田 藤太[1)]、伊藤 敦[1)]、冨田 雅典[2)]
1）東海大学 工学部 原子力工学科、2）電力中央研究所

O1-1-2 ヒトガン細胞と正常細胞間における放射線誘発バイスタンダー効果の解析

○小林 亜利紗[1)]、小西 輝昭[1)]、及川 将一[1)]、バドリ パンディナラニン[2)]、デサイ セジャル[2)]、前田 武[1)]、内堀 幸夫[1)]、白川 芳幸[1)]
1）放射線医学総合研究所 研究基盤センター、2）バーバ原子力研究センター

O1-1-3 マイクロドジメトリに基づく標的・非標的効果を同時に考慮可能な細胞生存率評価モデル

○佐藤 達彦[1)]、浜田 信行[2)]
1）原子力機構、2）電中研

O1-2：原爆影響（1）

10月1日(水) 9：20～10：10 D会場

座長：甲斐 倫明（大分県立看護科学大学）、廣内 篤久（環境科学技術研究所）

O1-2-1 原爆被爆者の放射線関連乳がん発生リスクに及ぼす *ATM* 遺伝子多型の影響

○林 奉権[1)]、胡 軼群[1)]、吉田 健吾[2)]、大石 和佳[2)]、飛田 あゆみ[2)]、林 幾江[3)]、梶村 順子[1)]、京泉 誠之[1)]、楠 洋一郎[1)]、中地 敬[1)]
1）公益財団法人 放射線影響研究所 放射線生物学 / 分子疫学部、2）公益財団法人 放射線影響研究所 臨床研究部、3）広島大学歯学部 中央研究室

O1-2-2 原爆被曝影響の再検討

○山本 修
元 広島大院 理 遺伝子科学

O1-2-3 放射線に関係する循環器疾患の研究：高血圧自然発症ラット（SHR）系統のモデル動物としての有効性

○高橋 規郎[1)]、村上 秀子[2)]、大石 和佳[3)]、三角 宗近[4)]、楠 洋一郎[2)]、長町 安希子[5)]、稲葉 俊哉[5)]、小木曽 洋一[6)]、田中 聡[6)]、田中 イグナシャ[6)]、丹羽 保晴[2)]
1）放射線影響研究所、2）放射線影響研究所・放射線生物学 / 分子疫学部、3）放射線影響研究所・臨床研究部、4）放射線影響研究所・統計部、5）広島大学・原爆放射線医科学研究所、6）環境科学技術研究所

O1-2-4 ラット未熟卵子における放射線誘発突然変異：高密度マイクロアレイで検出された突然変異

○小平 美江子[1)]、三浦 昭子[1)]、今中 正明[1)]、辻 隆弘[1)]、北村 淳[1)]、中本 芳子[1)]、上口 勇次郎[2)]、中村 典[1)]、浅川 順一[1)]
1）（公益財団法人）放射線影響研究所 遺伝学部、2）旭川医科大学

O1-2-5 高密度マイクロアレイCGH法を用いた原爆放射線の遺伝的影響調査

○三浦 昭子[1)]、辻 隆弘[1)]、今中 正明[1)]、北村 淳[1)]、金子 順子[1)]、中本 芳子[1)]、錦織 栄子[1)]、佐藤 康成[1)]、古川 恭二[2)]、小平 美江子[1)]、中村 典[1)]、浅川 順一[1)]
1）放影研 遺伝、2）放影研統計

O1-3：原爆影響（2）

10月1日(水) 10：10～11：00 D会場

座長：柿沼 志津子（放射線医学総合研究所）、大塚 健介（電力中央研究所）

O1-3-1 全ゲノムシーケンス法による放射線がマウス成熟卵母細胞に及ぼす遺伝的影響の評価

○佐藤 康成[1)]、瀬々 潤[2)]、西村 まゆみ[3)]、島田 義也[3)]、中村 典[1)]、浅川 順一[1)]
1）放影研 遺伝、2）お茶の水女子大院 理 情報、3）放医研 発達期被ばく影響研究プログラム

O1-3-2　X 線照射ヒト培養細胞クローン DNA の全ゲノム塩基配列解読で検出された突然変異

○浅川 順一[1)]、藤本 明洋[2)]、佐藤 康成[1)]、三浦 昭子[1)]、中本 芳子[1)]、錦織 栄子[1)]、今中 正明[1)]、小平 美江子[1)]
1）放影研 遺伝、2）理化学研究所 統合生命医科学研究センター

O1-3-3　長崎原爆の放射性降下物による汚染地区のがん死亡リスク

○横田 賢一[1)]、三根 真理子[1)]、柴田 義貞[2)]
1）長崎大学原爆後障害医療研究所、2）福島県立医科大学放射線医学県民健康管理センター

O1-3-4　非初期放射線による固形癌超過死亡危険度の定量化について
ー広島原爆被爆者コホートデータを用いてー

○大谷 敬子[1)]、大瀧 慈[1)]、冨田 哲治[2)]、佐藤 裕哉[1)]、原 憲行[1)]、伊森 晋平[3)]、川上 秀史[1)]、星 正治[4)]、佐藤 健一[1)]
1）広島大学放射線医科学研究所、2）県立広島大学経営情報学部、3）広島大学理学部、4）広島大学

O1-3-5　負の二項モデルによる原爆被爆者の寿命調査データの解析

○土居 主尚、吉永 信治
放射線医学総合研究所福島復興支援本部

O1-4：組織障害

10月1日㈬　11：00～11：50　C 会場

座長：三谷 啓志（東京大学）、今岡 達彦（放射線医学総合研究所）

O1-4-1　造血幹（前駆）細胞の視点から放射線被ばく感受性と線量依存性

○羅 蘭、浦田 芳重、後藤 信治、小野 悠介、増田 慎也、李 桃生
長崎大学 原爆後障害医療研究所 幹細胞生物学

O1-4-2　マウス腸管の高線量放射線障害／再生医療効果を3次元組織学的に解析する試み

○道川 祐市[1)]、徐 華[1)]、福崎 智子[1)]、後藤 希[1)]、小久保 年章[2)]、犬伏 正幸[3)]
1）放射線医学総合研究所 緊急被ばく医療研究センター 被ばく医療研究プログラム、
2）放射線医学総合研究所 研究基盤センター 生物研究推進課、3）川崎医科大学 医学部 放射線科

O1-4-3　GFP トランスジェニックマウスの放射線感受性の解析

○二宮 康晴、田中 薫、王 冰、石井 洋子、根井 充
放医研 防護センター リスク低減化（82502）

O1-4-4　メダカ胚を用いた眼で起こる放射線誘発アポトーシスとそれらの修復

○保田 隆子、平川 慶、尾田 正二、三谷 啓志
東大院 新領域 動物生殖システム

O1-4-5　新規アポトーシス抑制剤 KH-3の放射線防護活性評価

○森田 明典[1,2)]、高橋 一平[1,3)]、青木 伸[4)]、王 冰[5)]、有安 真也[4)]、笹谷 めぐみ[1)]、田中 薫[5)]、谷本 圭司[1)]、神谷 研二[1)]、細井 義夫[1,6)]、永田 靖[3)]、稲葉 俊哉[1)]
1）広島大 原医研、2）徳島大 医 放射線基礎科学、3）広島大 医 放射線腫瘍学、4）東理大 薬 生命創薬科学、
5）放医研 防護セ リスク低減化、6）東北大 医 放射線生物学

O1-5：紫外線・放射線応答

10月1日㈬　11：00～11：50　D 会場

座長：藤堂 剛（大阪大学）、日出間 純（東北大院）

O1-5-1　色素性乾皮症バリアント群モデルマウス皮膚における UVB 誘発突然変異スペクトルの解析

○池畑 広伸[1)]、横井 雅幸[2)]、山本 雅之[1)]、花岡 文雄[2)]
1）東北大院・医・医化学、2）学習院大・理・生命科学

O1-5-2 Chk2による、細胞分裂期での細胞死機構の解明

○田上 友貴、立石 智
熊本大学 発生医学研究所 損傷修復

O1-5-3 DNA 損傷応答における STK38の役割

○榎本 敦、深澤 毅倫、宮川 清
東京大院 医 放射線分子医学

O1-5-4 p53 dependent timing of DNA synthesis in main nuclei and micronuclei

○Seiji Kodama[1], Kohei Hagihara[1], Kazunori Shiraishi[1], Ai Kawakita[2], Kaori Murata[2], Kenji Sugimoto[2]
1）Lab. Radiat. Biol., Dept. Biol. Sci., Grad. Sch. Sci., Osaka Pref. Univ.、2）Live Cell Imaging Inst., Osaka Pref. Univ.

O1-5-5 人工多能性幹細胞（iPS 細胞）の X 線高感受性の分子機構

○嶋本 顕[1]、香川 晴信[1]、河合 秀彦[2]、佐久間 哲史[3]、山本 卓[3]、塩谷 文章[1]、田原 栄俊[1]
1）広島大院 医歯薬保健学 細胞分子生物学、2）広島大 原医研 放射線細胞応答、3）広島大院 理 分子遺伝学

O1-6：被ばく事故

10月1日㈬ 17：00～18：00 D会場

座長：久保田 善久（放射線医学総合研究所）、武田 志乃（放射線医学総合研究所）

O1-6-1 Decay mode of chromosome aberrations in 3 accidentally exposed persons over five years and the importance of mathematical and statistical methods in dose estimation

○Cuiping Chi [1], Jinxiang Lu[1], Huifang Liu[2], Qingjie Liu[3], Haiyan Wang[1], Xue Lu[3], Shufang Li[1], Juan Yue[1], Deqing Chen[3]
1）China Institute for Radiation Protection, Taiyuan, China,
2）Shanxi Province Institute for Health Inspection and Supervision, Taiyuan, China,
3）National Institute for Radiological Protection, China CDC, Beijing, China

O1-6-2 被災アカネズミの雄性生殖細胞における増殖能の評価

○瀧野 祥生[1]、トウ ビン[1]、菅野 有晃[1]、岩島 玲奈[1]、秋山 将[2]、中田 章史[3]、葛西 宏介[4]、三浦 富智[4]、福本 学[5]、山城 秀昭[2]
1）新潟大 自然研究科、2）新潟大学 農学部、3）北海道薬科大学 薬学部、4）弘前大学 保健学研究科、
5）東北大学 加齢医学研究所

O1-6-3 福島第一原発事故被災ニホンザルの全身骨組織への放射性物質取り込み

○清水 良央[1]、鈴木 敏彦[1]、漆原 佑介[3]、高橋 温[1]、千葉 美麗[1]、小坂 健[1]、福田 智一[2]、小荒井 一真[3]、木野 康志[3]、関根 勉[4]、磯貝 恵美子[2]、篠田 壽[1]、福本 学[3]
1）東北大院 歯、2）東北大院・農、3）東北大・加齢医学研究所、4）東北大院・理、5）東北大・高等教育

O1-6-4 飯舘村村内で操業を継続している企業の従業員を対象とした2013年の被曝線量の評価

○作美 明[1]、玉利 祐樹[1]、黒田 佑次郎[2]、坂田 尚子[1]、水島 希[3]、佐倉 統[3]、中川 恵一[1]
1）東京大学医学部附属病院、2）福島県立医科大学医学部公衆衛生学講座、3）東京大学大学院情報学環

O1-6-5 放射線被ばくした野生ネズミにおける染色体異常検出法確立のための染色体特異的プローブの開発

○川越 大輝、塩見 尚子、辻 秀雄、吉田 聡、久保田 善久
放医研 福島復興支援本部 環境動態・影響プロジェクト

O1-6-6 人の歯のエナメルを用いた ESR 線量計測の原理と最近の成果

○豊田 新
岡山理科大学 理

O2-1：DNA 損傷（1）

10月2日(日)　8：20～9：20　D 会場

座長：鹿園 直哉（日本原子力研究開発機構）、井原 誠（長崎大学）

O2-1-1　Oxidation Resistance 1（OXR1）の機能解析および各種放射線による細胞影響の比較

○松井 亜子[1)]、吉川 幸宏[1)]、鈴木 雅雄[2)]、橋口 一成[3)]、秋山（張） 秋梅[1)]
1）京大院 理 環境応答遺伝子科学、2）放射線医学研究所、3）医薬基盤研究所

O2-1-2　放射線耐性を示すクマムシの新規タンパク質 S261 による DNA 損傷の抑制

○橋本 拓磨[1)]、斎藤 裕樹[1)]、尾山 大明[2)]、秦 裕子[2)]、榎本 敦[3)]、宮川 清[3)]、桑原 宏和[1)]、堀川 大樹[4)]、豊田 敦[5)]、片山 俊明[6)]、荒川 和晴[7)]、藤山 秋佐夫[5)]、久保 健雄[1)]、國枝 武和[1)]
1）東大 院理 生物科学、2）東大 医科研 疾患プロテオミクス、3）東大 医学系 放射線分子医学、
4）パリ第5大 衛生医学研、5）遺伝研 生物遺伝資源、6）東大 医科研、7）慶応大 先端研

O2-1-3　甲状腺細胞における放射線外照射・内照射誘発 DNA 二重鎖切断と抗酸化剤の効果の検討

○永山 雄二、蔵重 智美
長崎大 原研分子

O2-1-4　非相同末端結合因子 XRCC4 の M 期特異的リン酸化の染色体分配における役割

○寺澤 匡博、篠原 美紀
阪大・蛋白研

O2-1-5　5-メチルシトシンの酸化誘導体における複製システムの障害

○倉岡 功
大阪大 基礎工学 物質創成

O2-1-6　重粒子線照射によるクラスター DNA 損傷の生成とその修復

○徳山 由佳[1)]、平山 亮一[2)]、古澤 佳也[3)]、井出 博[4)]、寺東 宏明[1)]
1）佐賀大学総合分析実験センター、2）放射線医学総合研究所重粒子医科学センター粒子線生物研究グループ、
3）放射線医学総合研究所研究基盤センターマイクロビーム開発室、4）広島大学大学院理学研究科数理分子生命理学専攻

O2-2：DNA 損傷（2）

10月2日(日)　9：20～10：20　D 会場

座長：寺東 宏明（佐賀大学）、山内 基弘（長崎大学）

O2-2-1　高エネルギー粒子線により生じる複雑な DNA 損傷のイメージ解析

○石川 隆昭[1)]、アリウンゲレル ゲレルチュルン[2)]、真鍋 絵梨[2)]、鈴木 健之[3)]、アロウモウガメ アサイザンビ[4)]、デイビッド チェン[4)]、坪井 康次[3)]
1）筑波大 医、2）筑波大院 人間総合科学、3）筑波大 陽子線医学利用研究センター、
4）テキサス大 放射線腫瘍 分子放射線生物

O2-2-2　放射線によるゲノム大規模欠失部位の経世代エピジェネティック痕跡の探索

○横谷 明徳[1)]、鈴木 啓司[2)]
1）原子力機構 先端基礎研究センター、2）長崎大 原研 放射線災害医療

O2-2-3　生体内の様々な細胞におけるヌクレオチド除去修復に依存した二次的 DNA 損傷の生成

○若杉 光生、長岡 美友紀、堀田 侑希、松永 司
金沢大 医薬保研 薬

O2-2-4　DNA double-strand break repair in mouse neurons

○Hiroki Kashiwagi, Tomoya Nakahama, Kenta Sakaguchi, Kazunori Shiraishi, Seiji Kodama
Lab. Radiat. Biol. Dept. Biol. Sci. Grad. Sch. Sci. Osaka Pref. Univ.

O2-2-5　DNA 損傷の修復に必要な多くのクロマチンリモデリング因子の癌細胞での発現欠損

○安井 明、渡邉 怜子
東北大 加齢研 加齢ゲノム

O2-2-6 DNA 二本鎖切断の修復過程における DNA 末端の削り込みと細胞応答

○矢島 浩彦[1)]、劉 翠華[2)]、中島 菜花子[1)]
1）放射線医学総合研究所 重粒子医科学センター、2）放射線医学総合研究所 放射線防護研究センター

O3-1：福島関連

10月3日㈮ 8：20～9：00 C会場

座長：岡崎 龍史（産業医科大学）、川口 勇生（放射線医学総合研究所）

O3-1-1 福島第一原子力発電所事故後18－30ヶ月間の、児童の外部被ばく線量の実測値とモデル推定値の比較に関する研究

○野村 周平[1)]、坪倉 正治[2)]、古谷 知之[3)]、早野 龍五[4)]、金澤 幸夫[2)]、及川 友好[2)]
1）インペリアル・カレッジ・ロンドン公衆衛生大学院 疫学統計教室、2）南相馬市立総合病院、
3）慶應義塾大学 総合政策学部、4）東京大学大学院 理学系研究科

O3-1-2 浪江町に生きる和牛体内セシウムの実効半減期と畜産業者の線量評価

○高田 純
札幌医科大学医学

O3-1-3 青森県の空間放射線量分布

○細田 正洋[1)]、井上 一雅[2)]、岡 光昭[3)]、大森 康孝[4)]、谷地 優紀[1)]、岩岡 和輝[1)]、床次 眞司[1)]
1）弘前大学、2）首都大学東京、3）日本原燃、4）福島県立医科大学

O3-1-4 福島第一原発事故による被災牛の硬組織に取り込まれた放射性物質の濃度と分布様相

○千葉 美麗[1)]、清水 良央[1)]、高橋 温[1)]、鈴木 敏彦[1)]、小荒井 一真[2)]、木野 康志[2)]、小坂 健[1)]、
福田 智一[3)]、関根 勉[4)]、磯貝 恵美子[3)]、福本 学[5)]、篠田 壽[1)]
1）東北大学大学院歯学研究科、2）東北大学大学院理学研究科、3）東北大学大学院農学研究科、
4）東北大学高度教養教育・学生支援機構、5）東北大学加齢医学研究所

O3-2：低線量・低線量率

10月3日㈮ 8：20～9：20 D会場

座長：根井 充（放射線医学総合研究所）、横田 裕一郎（日本原子力研究開発機構）

O3-2-1 放射線高感受性細胞を用いた低線量放射線応答の解析

○志村 勉[1)]、小林 純也[2)]、小松 賢志[2)]、欅田 尚樹[1)]
1）国立保健医療科学院、2）京大 放生研

O3-2-2 低線量放射線による酸化ストレス応答シグナルを介する annexin A2の細胞外放出

○喜多 和子[1)]、佐藤 知穂美[1)]、菅谷 茂[1)]、杉田 克生[2)]、金田 篤志[1)]
1）千葉大院 医 分子腫瘍学、2）千葉大・教育・基礎医科学

O3-2-3 福島シミュレーション実験としての^{137}Cs 多世代慢性的経口摂取による低線量率内部被曝の子孫マウスへの影響

○中島 裕夫[1)]、尾崎 清和[2)]、岡 幸子[1)]、福本 学[3)]、藤堂 剛[1)]
1）阪大院 医 放基、2）摂南大 薬 病理、3）東北大 加齢研 加齢研病態臓器構築

O3-2-4 低線量放射線によるヒト新生児、幼児および胎児由来細胞における小核形成への影響

○宮越 順二、小山 眞、成田 英二郎、清水 陽子、篠原 真毅
京大 生存研 生存圏開発創成研究系

O3-2-5 数理モデルによる突然変異発生頻度の統一的理解

○真鍋 勇一郎[1)]、中村 一成[2)]、中島 裕夫[3)]、角山 雄一[4)]、坂東 昌子[5)]
1）大阪大院 工 環境エネルギー工学、2）中国科学院 高分子化学研究所、3）大阪大院 医 放射線基礎医学、
4）京大 放射性同位元素総合センター、5）京大 基礎物理学研究所

O3-2-6 乳腺幹細胞における低線量放射線被ばく影響解析

○飯塚 大輔、笹谷 めぐみ、神谷 研二
広島大 原医研 分子発がん制御

O3-3：放射線抵抗性

10月3日㈮ 9：20～10：20 D会場

座長：坪井 康次（筑波大学）、安井 博宣（北海道大学）

O3-3-1 非ステロイド性抗炎症性薬は放射線と相乗的に作用してヒト血管内皮細胞における ICAM-1の発現を亢進させる

○上原 芳彦、村田 泰彦、細井 義夫
東北大院 医 放射線生物

O3-3-2 低栄養状態が培養細胞の放射線感受性に及ぼす影響

○村田 泰彦、上原 芳彦、細井 義夫
東北大院 医 放射線生物

O3-3-3 グリオブラストーマスフェロイドの低酸素微小環境に出現する CD133陽性細胞は放射線及び CDDP 抵抗性を示す

○大西 健[1)]、谷 俊明[3)]、坂東 真一[1)]、藤井 義大[2)]、窪田 宜夫[2)]、秦野 修[4)]
1）茨城県立医療大 保健医療 生物、2）茨城県立医療大 保健医療 放射線技術科学、3）茨城県立医療大 院 放射線技術科学専攻、
4）奈良医大 医 第一解剖

O3-3-4 間欠的低酸素環境経験がん細胞の転移能及び細胞生存に対する重粒子線の効果

○松本 孔貴[1)]、山下 慶[2)]、李 惠子[2)]、金子 由美子[2)]、孫 略[1)]、盛武 敬[1)]、平山 亮一[2)]、鵜澤 玲子[2)]、
安藤 興一[3)]、増永 慎一郎[4)]、白井 敏之[2)]、古澤 佳也[2)]、櫻井 英幸[1)]
1）筑波大学 陽子線医学利用研究センター、2）放射線医学総合研究所 重粒子医科学センター、
3）群馬大学 重粒子線医学研究センター、4）京都大学原子炉実験所 粒子線腫瘍学研究センター

O3-3-5 神経幹細胞および神経膠芽腫細胞における増殖率を指標とした X 線および炭素線の感受性

○磯野 真由[1)]、吉田 由香里[1)]、八高 知子[1)]、高橋 昭久[2)]、尾池 貴洋[3)]、柴田 淳史[2)]、金井 達明[1)]、
大野 達也[1)]、中野 隆史[1,3)]
1）群馬大学重粒子線医学研究センター、2）群馬大学先端科学研究指導者育成ユニット、
3）群馬大学大学院医学系研究科腫瘍放射線学

O3-3-6 臨床的放射線耐性細胞での X 線で誘発される HPRT 遺伝子座の突然変異率と mutation spectrum

○桑原 義和、鷲尾 亮太、福本 基、漆原 佑介、鈴木 正敏、福本 学
東北大 加齢研 病態臓器

O3-4：放射線治療

10月3日㈮ 10：30～11：30 D会場

座長：平田 秀紀（九州大学）、山盛 徹（北海道大学）

O3-4-1 不均一な放射線感受性腫瘍に対する放射線治療の休止期間による局所制御率の低下の検討

○関根 広
東京慈恵会医科大学 放射線医学講座

O3-4-2 Carbon-ion beam irradiation kills X-ray-resistant p53-null cancer cells by inducing mitotic catastrophe

○Takahiro Oike[1,2)], Amornwichet Napapat[1)], Atsushi Shibata[3)], Hideaki Ogiwara[2)], Mayu Isono[4)],
Yukari Yoshida[4)], Tatsuya Ohno[4)], Takashi Kohno[2)], Takashi Nakano[1)]
1）Department of Radiation Oncology, Gunma Univ. Grad. Sch. Med.,
2）Division of Genome Biology, Natl. Cancer Center Res. Inst.,
3）Advanced Scientific Research Leaders Development Unit, Gunma Univ.,
4）Heavy Ion Medical Center, Gunma Univ.

O3-4-3 低線量炭素線被ばくにより特異的にアポトーシスが誘導されるのは組織幹細胞か？

○松本 英樹[1)]、大塚 健介[2)]、畑下 昌範[3)]、隈部 篤寛[4)]、平山 亮一[5)]、尾崎 匡邦[5)]、李 惠子[5)]、山下 慶[5)]、古澤 佳也[5)]
1）福井大学 高エネルギー医学研究センター、2）電力中央研究所 放射線安全研究センター、
3）若狭湾エネルギー研究センター 研究開発部、4）慶応大学 医 放射線科学、
5）放射線医学総合研究所 次世代重粒子治療研究プログラム

O3-4-4 290MeV/u 単色炭素イオン線及び2MeV 速中性子線が小児期ラット正常乳腺組織に及ぼす発がん作用の評価

○今岡 達彦[1,2)]、西村 まゆみ[1,2)]、臺野 和広[1,2)]、細木 彩夏[2)]、高畠 賢[1,3)]、ショウラー 恵[1,3)]、小久保 年章[4)]、土居 主尚[5)]、島田 義也[1,2)]
1）放医研 防護セ 発達期、2）放医研 福島復興 長期低線量、3）首都大 人間健康 放射線、4）放医研 基盤セ 基盤技術、
5）放医研 福島復興 健康影響

O3-4-5 放射線治療患者における酸化ストレス関連マーカーの継時的変化

○川村 千香[1)]、門前 暁[1)]、中村 歩美[1)]、ハグドゥースト シアマーク[2)]、真里谷 靖[1)]
1）弘前大学大学院保健学研究科、2）ストックホルム大学放射線防護研究センター

O3-4-6 低線量放射線による健康影響に交絡する要因の探索
―放射線業務従事者の疫学的調査から―

○工藤 伸一、石田 淳一、吉本 恵子、水野 正一、大島 澄男、笠置 文善
公益財団法人放射線影響協会

O3-5：修復

10月3日㊎ 11：30～12：30 D会場

座長：細井 義夫（東北大学）、中津 可道（九州大学）

O3-5-1 DNA 二本鎖切断同士の近接および染色体転座頻度に影響を与える因子

○山内 基弘[1)]、鈴木 啓司[2)]、柴田 淳史[3)]、近藤 久義[4)]、三浦 美和[1)]、平川 美弥子[1)]、山下 俊一[2)]、松田 尚樹[1)]
1）長崎大 先導セ 放射線生物防護学、2）長崎大 原研医療、3）群馬大 先端科学研究指導者育成ユニット、
4）長崎大 原研情報

O3-5-2 DNA ポリメラーゼηと PCNA の相互作用の解析

○増田 雄司[1,2)]、金尾 梨絵[1)]、大森 治夫[3)]、花岡 文雄[3)]、益谷 央豪[1)]
1）名大 環医研 ゲノム動態制御、2）名大院 医 トキシコゲノミクス、3）学習院大 理 生命科学

O3-5-3 マウスにおける DNA 二重鎖切断修復タンパク質 DNA-PKcs 及び XLF の発現の年齢及び組織依存性

○大川 あおい[1)]、柿沼 志津子[2)]、今岡 達彦[2)]、島田 義也[2)]、松本 義久[1)]
1）東京工業大学 原子炉工学研究所、2）放射線医学総合研究所 放射線防護研究センター

O3-5-4 メダカ地域集団を用いた NBS1 遺伝子多型の機能的解析

○五十嵐 健人[1)]、小林 純也[2)]、三谷 啓志[1)]
1）東大院 新領域 先端生命、2）京大 放生研 ゲノム動態

O3-5-5 Functional studies of XRCC4 C-terminal mutants

○Rujira Wanotayan[1)], Mikoto Fukuchi[1)], Mukesh Kumar Sharma[1,2)], Yoshihisa Matsumoto[1)]
1）Research Laboratory for Nuclear Reactors, Tokyo Institute of Technology,
2）Department of Zoology, R.L.S. Govt.（PG）College, India

O3-5-6 マイクロ RNA の miR-34a は p53の脱リン酸化により誘導される

○岡市 協生、工藤 崇
長崎大学 原爆後障害医療研究所 アイソトープ診断治療学